

## ○ 移住の松と運命を共にした、水車小屋よ永遠に

昨冬の強風で「移住の松」が倒れた際に下敷きとなった物置小屋を、このたび撤去しました。実はこの小屋、母屋よりも歴史は古く、当初は水車小屋として川べりに建っていたものです。その後二度ほど場所を移動し（どうやって動かしたのか、気になるところです）今の場所に建っておりました。水車小屋としての役目を



ビフォーアフター。なるべく同じアングルになるように撮影してみました、わかりますか？

を終えた後は、高野豆腐づくりの作業場として使われていた時代もあるようです。私が子どもの頃は暖房用の薪がうず高く積み上げられて「薪小屋」と呼ばれていて、中学校の国語で「臥薪嘗胆」という熟語を習ったときには、この小屋に積まれた薪の上に寝そべる姿を想像していました。跡地の利用は今のところ考えていませんが、倒れた木を活用して小屋の再建してみようなんて、やりたい方いますか？

## ○ 芽室と根室ぐらい間違われますが、みちの駅ではなく「まちの駅」です

芽室駅のすぐ隣にある複合施設「めむろーど」。できた当初はお寿司屋さんが入っていたことを知っている方、どれくらいいるでしょうか。その場所は今「まちの駅」として活用されていますが、この4月から運営主体が観光物産協会に替わり、物販コーナーが大幅に強化されました。会員の



でかでかと宣伝されるピーナッツ関連商品。実は奥にならぶ「じゃがいも」が一番の売れ筋。



オープン当日手伝いに行き、記念撮影に紛れ込みました。

手作りというおしゃれな棚には知る人ぞ知る（ほめてないかな）芽室の特産品がずらりと並んでいます。当園の週替り弁当「かよう弁」もここで受け取ることができます。最近力が入っているのが、近年よく話題になる芽室産ピーナッツの関連商品。シンプルにローストしたものから甘納豆やクッキー、そしてフロランタンまで。フロランタンってなんですか？それは聞かない約束。

## ○ アメリカ横断ウルトラクイズ、アメリカ大陸を徒歩で横断すると何日かかるでしょう

まったくの私事ですが、先日 50 歳になりました。区切りの年で思い出すのは 30 歳の誕生日。アメリカ大陸を歩いて横断中に迎えました。青年海外協力隊として赴任したパナマ共和国に滞在中、協力隊仲間 4 名とガイドしてもらった現地の友人で太平洋側から大西洋側へ徒歩で横断するという壮大なる計画を立てたのです。道路も通っていないジャングルをひたすら歩き、ところどころに点在する集落で寝る場所を使わせてもらいながらの旅でした。30 歳になった日の夜、懐中電灯の明かりの中でハッピーバースデーを歌ってもらった、ような気がします。そんなこんなの苦難の末にとうとう大西洋側に到着しました。大陸横断に要した期間は、5 日。え？短すぎる？運河で海と海をつなごうという国ですからね、アメリカ大陸の中で一番細いところです、はい。



そうはいつでも山道を約 80km、楽ではない旅でしたよ。

## ○ 移住の松と運命を共にした、水車小屋よ永遠に

昨冬の強風で「移住の松」が倒れた際に下敷きとなった物置小屋を、このたび撤去しました。実はこの小屋、母屋よりも歴史は古く、当初は水車小屋として川べりに建っていたものです。その後二度ほど場所を移動し（どうやって動かしたのか、気になるところです）今の場所に建っておりました。水車小屋としての役目を



ビフォーアフター。なるべく同じアングルになるように撮影してみました、わかりますか？

を終えた後は、高野豆腐づくりの作業場として使われていた時代もあるようです。私が子どもの頃は暖房用の薪がうず高く積み上げられて「薪小屋」と呼ばれていて、中学校の国語で「臥薪嘗胆」という熟語を習ったときには、この小屋に積まれた薪の上に寝そべる姿を想像していました。跡地の利用は今のところ考えていませんが、倒れた木を活用して小屋の再建してみようなんて、やりたい方いますか？

## ○ 芽室と根室ぐらい間違われますが、みちの駅ではなく「まちの駅」です

芽室駅のすぐ隣にある複合施設「めむろーど」。できた当初はお寿司屋さんが入っていたことを知っている方、どれくらいいるでしょうか。その場所は今「まちの駅」として活用されていますが、この4月から運営主体が観光物産協会に替わり、物販コーナーが大幅に強化されました。会員の



でかでかと宣伝されるピーナッツ関連商品。実は奥にならぶ「じゃがいも」が一番の売れ筋。



オープン当日手伝いに行き、記念撮影に紛れ込みました。

手作りというおしゃれな棚には知る人ぞ知る（ほめてないかな）芽室の特産品がずらりと並んでいます。当園の週替り弁当「かよう弁」もここで受け取ることができます。最近力が入っているのが、近年よく話題になる芽室産ピーナッツの関連商品。シンプルにローストしたものから甘納豆やクッキー、そしてフロランタンまで。フロランタンってなんですか？それは聞かない約束。

## ○ アメリカ横断ウルトラクイズ、アメリカ大陸を徒歩で横断すると何日かかるでしょう

まったくの私事ですが、先日 50 歳になりました。区切りの年で思い出すのは 30 歳の誕生日。アメリカ大陸を歩いて横断中に迎えました。青年海外協力隊として赴任したパナマ共和国に滞在中、協力隊仲間 4 名とガイドしてもらった現地の友人で太平洋側から大西洋側へ徒歩で横断するという壮大なる計画を立てたのです。道路も通っていないジャングルをひたすら歩き、ところどころに点在する集落で寝る場所を使わせてもらいながらの旅でした。30 歳になった日の夜、懐中電灯の明かりの中でハッピーバースデーを歌ってもらった、ような気がします。そんなこんな苦難の末にとうとう大西洋側に到着しました。大陸横断に要した期間は、5 日。え？短すぎる？運河で海と海をつなごうという国ですからね、アメリカ大陸の中で一番細いところです、はい。



そうはいつでも山道を約 80km、楽ではない旅でしたよ。



## ○ 移住の松と運命を共にした、水車小屋よ永遠に

昨冬の強風で「移住の松」が倒れた際に下敷きとなった物置小屋を、このたび撤去しました。実はこの小屋、母屋よりも歴史は古く、当初は水車小屋として川べりに建っていたものです。その後二度ほど場所を移動し（どうやって動かしたのか、気になるところです）今の場所に建っておりました。水車小屋としての役目を



ビフォーアフター。なるべく同じアングルになるように撮影してみました、わかりますか？

を終えた後は、高野豆腐づくりの作業場として使われていた時代もあるようです。私が子どもの頃は暖房用の薪がうず高く積み上げられて「薪小屋」と呼ばれていて、中学校の国語で「臥薪嘗胆」という熟語を習ったときには、この小屋に積まれた薪の上に寝そべる姿を想像していました。跡地の利用は今のところ考えていませんが、倒れた木を活用して小屋の再建してみようなんて、やりたい方いますか？

## ○ 芽室と根室ぐらい間違われますが、みちの駅ではなく「まちの駅」です

芽室駅のすぐ隣にある複合施設「めむろーど」。できた当初はお寿司屋さんが入っていたことを知っている方、どれくらいいるでしょうか。その場所は今「まちの駅」として活用されていますが、この4月から運営主体が観光物産協会に替わり、物販コーナーが大幅に強化されました。会員の



でかでかと宣伝されるピーナッツ関連商品。実は奥にならぶ「じゃがいも」が一番の売れ筋。



オープン当日手伝いに行き、記念撮影に紛れ込みました。

手作りというおしゃれな棚には知る人ぞ知る（ほめてないかな）芽室の特産品がずらりと並んでいます。当園の週替り弁当「かよう弁」もここで受け取ることができます。最近力が入っているのが、近年よく話題になる芽室産ピーナッツの関連商品。シンプルにローストしたものから甘納豆やクッキー、そしてフロランタンまで。フロランタンってなんですか？それは聞かない約束。

## ○ アメリカ横断ウルトラクイズ、アメリカ大陸を徒歩で横断すると何日かかるでしょう

まったくの私事ですが、先日 50 歳になりました。区切りの年で思い出すのは 30 歳の誕生日。アメリカ大陸を歩いて横断中に迎えました。青年海外協力隊として赴任したパナマ共和国に滞在中、協力隊仲間 4 名とガイドしてもらった現地の友人で太平洋側から大西洋側へ徒歩で横断するという壮大なる計画を立てたのです。道路も通っていないジャングルをひたすら歩き、ところどころに点在する集落で寝る場所を使わせてもらいながらの旅でした。30 歳になった日の夜、懐中電灯の明かりの中でハッピーバースデーを歌ってもらった、ような気がします。そんなこんなの苦難の末にとうとう大西洋側に到着しました。大陸横断に要した期間は、5 日。え？短すぎる？運河で海と海をつなごうという国ですからね、アメリカ大陸の中で一番細いところです、はい。



そうはいつでも山道を約 80km、楽ではない旅でしたよ。

## ○ 移住の松と運命を共にした、水車小屋よ永遠に

昨冬の強風で「移住の松」が倒れた際に下敷きとなった物置小屋を、このたび撤去しました。実はこの小屋、母屋よりも歴史は古く、当初は水車小屋として川べりに建っていたものです。その後二度ほど場所を移動し（どうやって動かしたのか、気になるところです）今の場所に建っておりました。水車小屋としての役目を



ビフォーアフター。なるべく同じアングルになるように撮影してみました、わかりますか？

を終えた後は、高野豆腐づくりの作業場として使われていた時代もあるようです。私が子どもの頃は暖房用の薪がうず高く積み上げられて「薪小屋」と呼ばれていて、中学校の国語で「臥薪嘗胆」という熟語を習ったときには、この小屋に積まれた薪の上に寝そべる姿を想像していました。跡地の利用は今のところ考えていませんが、倒れた木を活用して小屋の再建してみようなんて、やりたい方いますか？

## ○ 芽室と根室ぐらい間違われますが、みちの駅ではなく「まちの駅」です

芽室駅のすぐ隣にある複合施設「めむろーど」。できた当初はお寿司屋さんが入っていたことを知っている方、どれくらいいるでしょうか。その場所は今「まちの駅」として活用されていますが、この4月から運営主体が観光物産協会に替わり、物販コーナーが大幅に強化されました。会員の



でかでかと宣伝されるピーナッツ関連商品。実は奥にならぶ「じゃがいも」が一番の売れ筋。



オープン当日手伝いに行き、記念撮影に紛れ込みました。

手作りというおしゃれな棚には知る人ぞ知る（ほめてないかな）芽室の特産品がずらりと並んでいます。当園の週替り弁当「かよう弁」もここで受け取ることができます。最近力が入っているのが、近年よく話題になる芽室産ピーナッツの関連商品。シンプルにローストしたものから甘納豆やクッキー、そしてフロランタンまで。フロランタンってなんですか？それは聞かない約束。

## ○ アメリカ横断ウルトラクイズ、アメリカ大陸を徒歩で横断すると何日かかるでしょう

まったくの私事ですが、先日 50 歳になりました。区切りの年で思い出すのは 30 歳の誕生日。アメリカ大陸を歩いて横断中に迎えました。青年海外協力隊として赴任したパナマ共和国に滞在中、協力隊仲間 4 名とガイドしてもらった現地の友人で太平洋側から大西洋側へ徒歩で横断するという壮大なる計画を立てたのです。道路も通っていないジャングルをひたすら歩き、ところどころに点在する集落で寝る場所を使わせてもらいながらの旅でした。30 歳になった日の夜、懐中電灯の明かりの中でハッピーバースデーを歌ってもらった、ような気がします。そんなこんな苦難の末にとうとう大西洋側に到着しました。大陸横断に要した期間は、5 日。え？短すぎる？運河で海と海をつなごうという国ですからね、アメリカ大陸の中で一番細いところです、はい。



そうはいつでも山道を約 80km、楽ではない旅でしたよ。



## ○ 移住の松と運命を共にした、水車小屋よ永遠に

昨冬の強風で「移住の松」が倒れた際に下敷きとなった物置小屋を、このたび撤去しました。実はこの小屋、母屋よりも歴史は古く、当初は水車小屋として川べりに建っていたものです。その後二度ほど場所を移動し（どうやって動かしたのか、気になるところです）今の場所に建っておりました。水車小屋としての役目を



ビフォーアフター。なるべく同じアングルになるように撮影してみました、わかりますか？

を終えた後は、高野豆腐づくりの作業場として使われていた時代もあるようです。私が子どもの頃は暖房用の薪がうず高く積み上げられて「薪小屋」と呼ばれていて、中学校の国語で「臥薪嘗胆」という熟語を習ったときには、この小屋に積まれた薪の上に寝そべる姿を想像していました。跡地の利用は今のところ考えていませんが、倒れた木を活用して小屋の再建してみようなんて、やりたい方いますか？

## ○ 芽室と根室ぐらい間違われますが、みちの駅ではなく「まちの駅」です

芽室駅のすぐ隣にある複合施設「めむろーど」。できた当初はお寿司屋さんが入っていたことを知っている方、どれくらいいるでしょうか。その場所は今「まちの駅」として活用されていますが、この4月から運営主体が観光物産協会に替わり、物販コーナーが大幅に強化されました。会員の



でかでかと宣伝されるピーナッツ関連商品。実は奥にならぶ「じゃがいも」が一番の売れ筋。



オープン当日手伝いに行き、記念撮影に紛れ込みました。

手作りというおしゃれな棚には知る人ぞ知る（ほめてないかな）芽室の特産品がずらりと並んでいます。当園の週替り弁当「かよう弁」もここで受け取ることができます。最近力が入っているのが、近年よく話題になる芽室産ピーナッツの関連商品。シンプルにローストしたものから甘納豆やクッキー、そしてフロランタンまで。フロランタンってなんですか？それは聞かない約束。

## ○ アメリカ横断ウルトラクイズ、アメリカ大陸を徒歩で横断すると何日かかるでしょう

まったくの私事ですが、先日 50 歳になりました。区切りの年で思い出すのは 30 歳の誕生日。アメリカ大陸を歩いて横断中に迎えました。青年海外協力隊として赴任したパナマ共和国に滞在中、協力隊仲間 4 名とガイドしてもらった現地の友人で太平洋側から大西洋側へ徒歩で横断するという壮大なる計画を立てたのです。道路も通っていないジャングルをひたすら歩き、ところどころに点在する集落で寝る場所を使わせてもらいながらの旅でした。30 歳になった日の夜、懐中電灯の明かりの中でハッピーバースデーを歌ってもらった、ような気がします。そんなこんなの苦難の末にとうとう大西洋側に到着しました。大陸横断に要した期間は、5 日。え？短すぎる？運河で海と海をつなごうという国ですからね、アメリカ大陸の中で一番細いところです、はい。



そうはいつでも山道を約 80km、楽ではない旅でしたよ。

## ○ 移住の松と運命を共にした、水車小屋よ永遠に

昨冬の強風で「移住の松」が倒れた際に下敷きとなった物置小屋を、このたび撤去しました。実はこの小屋、母屋よりも歴史は古く、当初は水車小屋として川べりに建っていたものです。その後二度ほど場所を移動し（どうやって動かしたのか、気になるところです）今の場所に建っておりました。水車小屋としての役目を



ビフォーアフター。なるべく同じアングルになるように撮影してみました、わかりますか？

を終えた後は、高野豆腐づくりの作業場として使われていた時代もあるようです。私が子どもの頃は暖房用の薪がうず高く積み上げられて「薪小屋」と呼ばれていて、中学校の国語で「臥薪嘗胆」という熟語を習ったときには、この小屋に積まれた薪の上に寝そべる姿を想像していました。跡地の利用は今のところ考えていませんが、倒れた木を活用して小屋の再建してみようなんて、やりたい方いますか？

## ○ 芽室と根室ぐらい間違われますが、みちの駅ではなく「まちの駅」です

芽室駅のすぐ隣にある複合施設「めむろーど」。できた当初はお寿司屋さんが入っていたことを知っている方、どれくらいいるでしょうか。その場所は今「まちの駅」として活用されていますが、この4月から運営主体が観光物産協会に替わり、物販コーナーが大幅に強化されました。会員の



でかでかと宣伝されるピーナッツ関連商品。実は奥にならぶ「じゃがいも」が一番の売れ筋。



オープン当日手伝いに行き、記念撮影に紛れ込みました。

手作りというおしゃれな棚には知る人ぞ知る（ほめてないかな）芽室の特産品がずらりと並んでいます。当園の週替り弁当「かよう弁」もここで受け取ることができます。最近力が入っているのが、近年よく話題になる芽室産ピーナッツの関連商品。シンプルにローストしたものから甘納豆やクッキー、そしてフロランタンまで。フロランタンってなんですか？それは聞かない約束。

## ○ アメリカ横断ウルトラクイズ、アメリカ大陸を徒歩で横断すると何日かかるでしょう

まったくの私事ですが、先日 50 歳になりました。区切りの年で思い出すのは 30 歳の誕生日。アメリカ大陸を歩いて横断中に迎えました。青年海外協力隊として赴任したパナマ共和国に滞在中、協力隊仲間 4 名とガイドしてもらった現地の友人で太平洋側から大西洋側へ徒歩で横断するという壮大なる計画を立てたのです。道路も通っていないジャングルをひたすら歩き、ところどころに点在する集落で寝る場所を使わせてもらいながらの旅でした。30 歳になった日の夜、懐中電灯の明かりの中でハッピーバースデーを歌ってもらった、ような気がします。そんなこんな苦難の末にとうとう大西洋側に到着しました。大陸横断に要した期間は、5 日。え？短すぎる？運河で海と海をつなごうという国ですからね、アメリカ大陸の中で一番細いところです、はい。



そうはいつでも山道を約 80km、楽ではない旅でしたよ。



## ○ 移住の松と運命を共にした、水車小屋よ永遠に

昨冬の強風で「移住の松」が倒れた際に下敷きとなった物置小屋を、このたび撤去しました。実はこの小屋、母屋よりも歴史は古く、当初は水車小屋として川べりに建っていたものです。その後二度ほど場所を移動し（どうやって動かしたのか、気になるところです）今の場所に建っておりました。水車小屋としての役目を



ビフォーアフター。なるべく同じアングルになるように撮影してみました、わかりますか？

を終えた後は、高野豆腐づくりの作業場として使われていた時代もあるようです。私が子どもの頃は暖房用の薪がうず高く積み上げられて「薪小屋」と呼ばれていて、中学校の国語で「臥薪嘗胆」という熟語を習ったときには、この小屋に積まれた薪の上に寝そべる姿を想像していました。跡地の利用は今のところ考えていませんが、倒れた木を活用して小屋の再建してみようなんて、やりたい方いますか？

## ○ 芽室と根室ぐらい間違われますが、みちの駅ではなく「まちの駅」です

芽室駅のすぐ隣にある複合施設「めむろーど」。できた当初はお寿司屋さんが入っていたことを知っている方、どれくらいいるでしょうか。その場所は今「まちの駅」として活用されていますが、この4月から運営主体が観光物産協会に替わり、物販コーナーが大幅に強化されました。会員の



でかでかと宣伝されるピーナッツ関連商品。実は奥にならぶ「じゃがいも」が一番の売れ筋。



オープン当日手伝いに行き、記念撮影に紛れ込みました。

手作りというおしゃれな棚には知る人ぞ知る（ほめてないかな）芽室の特産品がずらりと並んでいます。当園の週替り弁当「かよう弁」もここで受け取ることができます。最近力が入っているのが、近年よく話題になる芽室産ピーナッツの関連商品。シンプルにローストしたものから甘納豆やクッキー、そしてフロランタンまで。フロランタンってなんですか？それは聞かない約束。

## ○ アメリカ横断ウルトラクイズ、アメリカ大陸を徒歩で横断すると何日かかるでしょう

まったくの私事ですが、先日 50 歳になりました。区切りの年で思い出すのは 30 歳の誕生日。アメリカ大陸を歩いて横断中に迎えました。青年海外協力隊として赴任したパナマ共和国に滞在中、協力隊仲間 4 名とガイドしてもらった現地の友人で太平洋側から大西洋側へ徒歩で横断するという壮大なる計画を立てたのです。道路も通っていないジャングルをひたすら歩き、ところどころに点在する集落で寝る場所を使わせてもらいながらの旅でした。30 歳になった日の夜、懐中電灯の明かりの中でハッピーバースデーを歌ってもらった、ような気がします。そんなこんな苦難の末にとうとう大西洋側に到着しました。大陸横断に要した期間は、5 日。え？短すぎる？運河で海と海をつなごうという国ですからね、アメリカ大陸の中で一番細いところです、はい。



そうはいつでも山道を約 80km、楽ではない旅でしたよ。

## ○ 移住の松と運命を共にした、水車小屋よ永遠に

昨冬の強風で「移住の松」が倒れた際に下敷きとなった物置小屋を、このたび撤去しました。実はこの小屋、母屋よりも歴史は古く、当初は水車小屋として川べりに建っていたものです。その後二度ほど場所を移動し（どうやって動かしたのか、気になるところです）今の場所に建っておりました。水車小屋としての役目を



ビフォーアフター。なるべく同じアングルになるように撮影してみました、わかりますか？

を終えた後は、高野豆腐づくりの作業場として使われていた時代もあるようです。私が子どもの頃は暖房用の薪がうず高く積み上げられて「薪小屋」と呼ばれていて、中学校の国語で「臥薪嘗胆」という熟語を習ったときには、この小屋に積まれた薪の上に寝そべる姿を想像していました。跡地の利用は今のところ考えていませんが、倒れた木を活用して小屋の再建してみようなんて、やりたい方いますか？

## ○ 芽室と根室ぐらい間違われますが、みちの駅ではなく「まちの駅」です

芽室駅のすぐ隣にある複合施設「めむろーど」。できた当初はお寿司屋さんが入っていたことを知っている方、どれくらいいるでしょうか。その場所は今「まちの駅」として活用されていますが、この4月から運営主体が観光物産協会に替わり、物販コーナーが大幅に強化されました。会員の



でかでかと宣伝されるピーナッツ関連商品。実は奥にならぶ「じゃがいも」が一番の売れ筋。



オープン当日手伝いに行き、記念撮影に紛れ込みました。

手作りというおしゃれな棚には知る人ぞ知る（ほめてないかな）芽室の特産品がずらりと並んでいます。当園の週替り弁当「かよう弁」もここで受け取ることができます。最近力が入っているのが、近年よく話題になる芽室産ピーナッツの関連商品。シンプルにローストしたものから甘納豆やクッキー、そしてフロランタンまで。フロランタンってなんですか？それは聞かない約束。

## ○ アメリカ横断ウルトラクイズ、アメリカ大陸を徒歩で横断すると何日かかるでしょう

まったくの私事ですが、先日 50 歳になりました。区切りの年で思い出すのは 30 歳の誕生日。アメリカ大陸を歩いて横断中に迎えました。青年海外協力隊として赴任したパナマ共和国に滞在中、協力隊仲間 4 名とガイドしてもらった現地の友人で太平洋側から大西洋側へ徒歩で横断するという壮大なる計画を立てたのです。道路も通っていないジャングルをひたすら歩き、ところどころに点在する集落で寝る場所を使わせてもらいながらの旅でした。30 歳になった日の夜、懐中電灯の明かりの中でハッピーバースデーを歌ってもらった、ような気がします。そんなこんな苦難の末にとうとう大西洋側に到着しました。大陸横断に要した期間は、5 日。え？短すぎる？運河で海と海をつなごうという国ですからね、アメリカ大陸の中で一番細いところです、はい。



そうはいつでも山道を約 80km、楽ではない旅でしたよ。



## ○ 移住の松と運命を共にした、水車小屋よ永遠に

昨冬の強風で「移住の松」が倒れた際に下敷きとなった物置小屋を、このたび撤去しました。実はこの小屋、母屋よりも歴史は古く、当初は水車小屋として川べりに建っていたものです。その後二度ほど場所を移動し（どうやって動かしたのか、気になるところです）今の場所に建っておりました。水車小屋としての役目を



ビフォーアフター。なるべく同じアングルになるように撮影してみました、わかりますか？

を終えた後は、高野豆腐づくりの作業場として使われていた時代もあるようです。私が子どもの頃は暖房用の薪がうず高く積み上げられて「薪小屋」と呼ばれていて、中学校の国語で「臥薪嘗胆」という熟語を習ったときには、この小屋に積まれた薪の上に寝そべる姿を想像していました。跡地の利用は今のところ考えていませんが、倒れた木を活用して小屋の再建してみようなんて、やりたい方いますか？

## ○ 芽室と根室ぐらい間違われますが、みちの駅ではなく「まちの駅」です

芽室駅のすぐ隣にある複合施設「めむろーど」。できた当初はお寿司屋さんが入っていたことを知っている方、どれくらいいるでしょうか。その場所は今「まちの駅」として活用されていますが、この4月から運営主体が観光物産協会に替わり、物販コーナーが大幅に強化されました。会員の



でかでかと宣伝されるピーナッツ関連商品。実は奥にならぶ「じゃがいも」が一番の売れ筋。



オープン当日手伝いに行き、記念撮影に紛れ込みました。

手作りというおしゃれな棚には知る人ぞ知る（ほめてないかな）芽室の特産品がずらりと並んでいます。当園の週替り弁当「かよう弁」もここで受け取ることができます。最近力が入っているのが、近年よく話題になる芽室産ピーナッツの関連商品。シンプルにローストしたものから甘納豆やクッキー、そしてフロランタンまで。フロランタンってなんですか？それは聞かない約束。

## ○ アメリカ横断ウルトラクイズ、アメリカ大陸を徒歩で横断すると何日かかるでしょう

まったくの私事ですが、先日 50 歳になりました。区切りの年で思い出すのは 30 歳の誕生日。アメリカ大陸を歩いて横断中に迎えました。青年海外協力隊として赴任したパナマ共和国に滞在中、協力隊仲間 4 名とガイドしてもらった現地の友人で太平洋側から大西洋側へ徒歩で横断するという壮大なる計画を立てたのです。道路も通っていないジャングルをひたすら歩き、ところどころに点在する集落で寝る場所を使わせてもらいながらの旅でした。30 歳になった日の夜、懐中電灯の明かりの中でハッピーバースデーを歌ってもらった、ような気がします。そんなこんな苦難の末にとうとう大西洋側に到着しました。大陸横断に要した期間は、5 日。え？短すぎる？運河で海と海をつなごうという国ですからね、アメリカ大陸の中で一番細いところです、はい。



そうはいつでも山道を約 80km、楽ではない旅でしたよ。

## ○ 移住の松と運命を共にした、水車小屋よ永遠に

昨冬の強風で「移住の松」が倒れた際に下敷きとなった物置小屋を、このたび撤去しました。実はこの小屋、母屋よりも歴史は古く、当初は水車小屋として川べりに建っていたものです。その後二度ほど場所を移動し（どうやって動かしたのか、気になるところです）今の場所に建っておりました。水車小屋としての役目を



ビフォーアフター。なるべく同じアングルになるように撮影してみました、わかりますか？

を終えた後は、高野豆腐づくりの作業場として使われていた時代もあるようです。私が子どもの頃は暖房用の薪がうず高く積み上げられて「薪小屋」と呼ばれていて、中学校の国語で「臥薪嘗胆」という熟語を習ったときには、この小屋に積まれた薪の上に寝そべる姿を想像していました。跡地の利用は今のところ考えていませんが、倒れた木を活用して小屋の再建してみようなんて、やりたい方いますか？

## ○ 芽室と根室ぐらい間違われますが、みちの駅ではなく「まちの駅」です

芽室駅のすぐ隣にある複合施設「めむろーど」。できた当初はお寿司屋さんが入っていたことを知っている方、どれくらいいるでしょうか。その場所は今「まちの駅」として活用されていますが、この4月から運営主体が観光物産協会に替わり、物販コーナーが大幅に強化されました。会員の



でかでかと宣伝されるピーナッツ関連商品。実は奥にならぶ「じゃがいも」が一番の売れ筋。



オープン当日手伝いに行き、記念撮影に紛れ込みました。

手作りというおしゃれな棚には知る人ぞ知る（ほめてないかな）芽室の特産品がずらりと並んでいます。当園の週替り弁当「かよう弁」もここで受け取ることができます。最近力が入っているのが、近年よく話題になる芽室産ピーナッツの関連商品。シンプルにローストしたものから甘納豆やクッキー、そしてフロランタンまで。フロランタンってなんですか？それは聞かない約束。

## ○ アメリカ横断ウルトラクイズ、アメリカ大陸を徒歩で横断すると何日かかるでしょう

まったくの私事ですが、先日 50 歳になりました。区切りの年で思い出すのは 30 歳の誕生日。アメリカ大陸を歩いて横断中に迎えました。青年海外協力隊として赴任したパナマ共和国に滞在中、協力隊仲間 4 名とガイドしてもらった現地の友人で太平洋側から大西洋側へ徒歩で横断するという壮大なる計画を立てたのです。道路も通っていないジャングルをひたすら歩き、ところどころに点在する集落で寝る場所を使わせてもらいながらの旅でした。30 歳になった日の夜、懐中電灯の明かりの中でハッピーバースデーを歌ってもらった、ような気がします。そんなこんな苦難の末にとうとう大西洋側に到着しました。大陸横断に要した期間は、5 日。え？短すぎる？運河で海と海をつなごうという国ですからね、アメリカ大陸の中で一番細いところです、はい。



そうはいつでも山道を約 80km、楽ではない旅でしたよ。